

【コラム】【月例会】

＜コラム＞文章：協同組合Masters顧問 霜田 稔(Mastersベトナム事業部ホーチミン駐在コーディネーター)

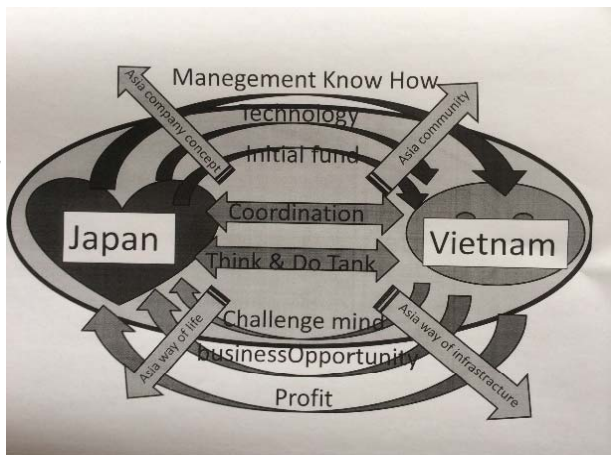
『ベトナムと日本の学生に伝えるべきこと』

今日本の春が満開と成って少し華やかな雰囲気にも包まれていると思います。真夏のようなところにいるとあの涼しいさわやかさを懐かしく思います。さて今朝は、早朝4時に起きてベトナム通信4月号を一気に書き上げるつもりで床にエアーマットの布団の上で、机を引っ張りだし、パソコンに向かいました。この床座これこそ、アジアの生活の原点、そういえばこの住宅マンションの多くのユニットが多世代同居、またはルームシェアと言ったらよいのか、沢山の靴が廊下にはみだし、また廊下を通りながら垣間見ると、ベッドシェアではなく、床座の雑魚寝、またはすだれ間仕切りで仕切った中で同棲しているといった感じの世帯が大部分です。核家族は少ないように思いました。大変高い家賃の世帯でもこの状況ということは、まさに過密居住の多世代同居と言うのが実態であると推測しています。こうやって高い家賃を耐えこんでいるのではないのでしょうか。

私はMastersベトナムの駐在員ですが、精神的には、自主的な鳥取県ベトナムホーチミン駐在員と言ったところではないでしょうか。日本の中小企業家や鳥取などの地方で生活している人々、そういう人たちのために私はベトナム駐在員をしている気でおります。さて4月には事務所の近くの交通大学で数回にまたがり講義をすることになりそうで、暇を見てその講義録を作っています。その講義録の冒頭は、ベトナムの学生に問題提起をします。それは『ベトナムの若者は今現在、世界で最も運の良い世代で、やり方によってはお金持ちにもなり、また生きがいもあり、たくさんの部下を持つことが可能な世代であると思っていますか。学生の皆さんは自覚していますか』という問いから始まります。ただし条件がありますよ。慌てずに時間をかけて、出来るだけたくさんの人や経験を通じて、特に少々お金があれば、先進国、それも国際語である英語に慣れるのに苦労している日本やドイツやスペインなどに出かけ、観光よりも若者たちが就職で苦労し、生きがいもなかなか見いだせずに苦労しているところを見に行きなさいと。そうすればベトナムが今、いかに素晴らしいかわかりますよ。少し町は汚いかもしれませんが。過密で狭い住宅できれいではなく、またブランド商品を買うお金もないかもしれませんし、海外旅行に出かける費用も親からも貰えないかもしれません。しかしベトナムでは、沢山の職種に挑戦できるかもしれませんし、一緒になって楽しみながら励まし合っている仲間がたくさんあり、また会社を友達と一緒に起こして、能力分担を終生かけてやれば、ホンダのように、京セラのように沢山の部下を持ち、親に送金して感謝されるような機会も比較的に出来るのではないかと確信を持っていますか。と問いかけようと思っています。なぜなら私は確信があります。私達が大学を出た昭和39年、東京オリンピックで、新幹線と名神が開通した頃でした。給料3万円、家賃4畳半下宿代4000円、ラーメン100円、経済成長率10%前後、会社は家族経営が大部分、お風呂も大衆浴場で背中を洗いあう世界でした。田舎からたくさんの若者が都会に集団就職した時代。風呂は有りませんが、正にベトナムの現在ですね。少々の機転と努力があれば会社ぐらいは興せた時代でした。これが毎年成長していくわけです。数年で倍増となります。

こういった状況の半世紀前の日本を当時のスイスの人たちは、サンライスカントリーと私を羨ましがっていました。よく解らなかつたし、どうしたら良いのかを教えてくださいませんでした。Mastersのみなさんは、どう教えてくださいませんか。これを考えることが、そのままベトナムの若者に伝えることと成ると思います。少し難しい言い方になりますが、これが戦略的思考ということになるのだと思います。それは自分とは何か、社会との関係はどうすべきか、友人とは何か、何がしたかったのか、何をしたいしなかったのかと言うことを反省しますね。価値体系化をしますね。それを予測し、準備していくこと、そのための基本的姿勢と情報収集や判断の仕方を学生に伝えることではないのでしょうか。そしてその中に、知識や経験を有している日本人からどうしたら技術やノウハウ、少々の資金を引き出せるかを教えてやれば、私達日本の善きパートナーを見出すことになるのではないのでしょうか。私の講義はこのように

なことを少しデータと体験と屁理屈を入れて、英語でしゃべることになります。問題は英語説明力ですね。またチャレンジです。それと日本の若者にはどういったセッションが可能なのでしょうか。一つはこのベトナムのような発展する地域との人間的交流、そしてビジネス的交流を可能とすること、また専門性を極めることと並行して、社会が求める業界的なコーディネイト力をチャレンジする機会を提起し、ともに行動する仲間を作ることでしょうか。それは自らの課題と社会の課題の解決を融合させることなのかも知れません。今年午前9時半、一気に書き上げました。右の図は日本とベトナムの相互関係と長期的に生み出すものを表現してみました。ECIに対応するAC、そしてアジアの文明をと。 2014年 4月 2日



＜月例会発表商材＞ 毎月第3水曜日 4月16日(水)15時～ Masters事務所に開催

1. 津波及び水難事故対策用リュック一体型ライフジャケット【TSUNA GUARD(ツナガード)】
(株)ネスト・ジャパン 下出谷良治・(株)ダイカ 山本篤／協同組合Masters 米川友則
2. LEDエコシステム 協同組合Masters アミューズメント事業部 伊田泰久
3. リハビリ特化短時間サービスのご案内 (株)リハステージ 西川正知／協同組合Masters 米川友則

- 【凡例】
 ①商品名
 ②対象者
 ③従来品との違い
 ④アピールポイント

1. 津波及び水難事故対策用リュック一体型ライフジャケット【TSUNA GUARD(ツナガード)】
(株)ネスト・ジャパン 下出谷良治・(株)ダイカ 山本篤／協同組合Masters 米川友則(30分)

- ①津波及び水難事故対策用リュック一体型ライフジャケット【TSUNA GUARD(ツナガード)】
- ②起こるかもしれない地震災害のために、特に沿岸地域への津波被害及び日常の水難事故に備えた防災商品として、皆様に常備いただきたいと考えています。
- ③ライフジャケットと避難用リュックを一体型(特許出願済)にする事により、津波等水難事故時の救命とその後の一時避難時の応急生活が可能となった全く新しいタイプの防災グッズ。
- ④落水時、水面に頭部を浮かせるように(顔部が上になる様に)リュックの生地の一部に浸水性のある生地を使用するなど、安全面に配慮した設計。また、災害時の備えとしてだけではなく、リュックとライフジャケットは取り外しできるようになっており、レジャーなどにもご使用いただける3WAYです。2014年1月には、浮力体入りでそのまま浮くタイプのライフジャケットなど、お客様の多様なニーズにお応えするためラインナップを増やしました。



水を感じると自動で膨らみます。

2014年モデル TSUNA GUARD

2. LEDエコシステム 協同組合Masters アミューズメント事業部 伊田泰久(30分)

- ①LEDエコシステム
- ②LED導入に興味のある方、導入資金の準備・負担を考慮し導入を諦めている方々
- ③導入資金「0」で国産一流メーカーの最新LEDへ全面交換できる事業です。
- ④国産一流メーカー(シャープ・パナソニック・TDK・日亜化学・村田製作所)品を使い事業所ごとのオリジナル製品を作成し、導入費用は大阪ガス・廣済堂が資金提供し電気代削減分を導入資金に充当していくので資金の準備・負担がありません。大阪ガス・廣済堂との契約となるので保証面も安心です。契約期間中は無償でメンテナンスを行い、契約期間が終了すれば、LED球・器具類は全て無償提供いたします。

LEDへの交換の主な球種



蛍光灯

施設内 ハロゲン球、クリプトン球等

屋外(駐車場・看板) ビーム球等

3. リハビリ特化短時間サービスのご案内 (株)リハステージ 西川正知／協同組合Masters 米川友則(45分)

- ①リハビリ特化短時間サービス
- ②いつまでも元気でいたいと運動機能を維持向上させたい要支援・要介護認定者の方々。
- ③小資本で開業できる個人オーナー対象の小規模サービスFC(年商2,000万円程度)とは一線を画した、安定した経営と高収益(年商7,500万円・営業利益率34%)をもたらす25名定員以上の通常規模・大規模サービスを事業とするFC。
- ④平成27年に介護保険制度が改訂され、サービスに於いては近年乱立した小規模サービスの運営基盤が揺らぐことが予測されます。逆に、専門職による高品質なリハビリを提供するサービスには重度化予防の観点から厚遇される見通しです。短時間型サービスは入浴・厨房設備が不要なため設備投資が低く、高齢者の増加に伴い市場拡大が約束され、高収益が期待されます。理学療法士が監修の集団エクササイズによる差別化で、高収益性のあるサービスを提案します。



Masters高等学院 協同組合Masters

◇Masters高等学院について
 Masters高等学院は、学校教育法第一条に定められた学習支援施設である広域通信制キャンパスより委託を受けて設立しました。ここでは、21世紀を担う若者の創出を目指しています。既に社会で活躍されている方や、様々な理由で高卒資格を取得できなかった方も、働きながら学ぶことでより大きな自信を自分のものにして頂きたいと考えています。新しいことへの挑戦をサポートする、励ます、勇気づける学院でありたいと考えています。

卒業保証⇒必ず卒業できます!

◇入学資格について

- 1) 中学校を卒業した者。または、中学校に準ずる学校を卒業した者。
- 2) 学校において、学校教育における9年の課程を修了した者。
- 3) 本校において中学校と同等の学力を有すると認められた者。

◇入学および就学費用について

- 1) 受験料 ----- 15,000円(税別)
- 2) 入学金 ----- 50,000円(税別)
- 3) 教材費 ----- 10,000円/年(税別)
- 4) スクーリング費 ----- 80,000円/年(税別)
 ※年2回のスクーリング費用となります。(交通費・宿泊費等は別途)
- 5) 単位認定料 ----- 237,600円 国の就学支援金充当
- 6) 学習支援費および事務費 --- 25,000円/年(税別)

※独自の技術・商材に興味や情報をお持ちの方、コラボレーションにご興味のある方はお気軽にご連絡下さい。
 連絡先: TEL06-6110-8050 E-mail: yonekawa@masters.coop 協同組合Masters 担当: 濱出、米川